



JAPAN REGION

Volume 27
March 2009

2

Vol. 27 No.2 March 2009

目 次

Table of Contents

日本リージョン会長挨拶	The President's Message	1
委員長からのメッセージ	Messages from Committees	2
Fellow of ITC からお知らせ	Information from Fellow of ITC	4
この人にスポットライト!	Spotlighting a Member	5
ITC の地域社会活動	ITC Activities in Society	6
第27回日本リージョン年次大会案内	Invitation to the 27 th Japan Region Annual Conference	8
大会プログラム案内	Guide to Program	9
大会プログラム予定表	Program Plan	10
教育セッション一覧表	Educational Sessions	11
大会申込要領	Registration	12
大会登録・宿泊申込書	Registration & Reservation Forms	13
観光案内	Information for Sightseeing	15
大会準備委員会名簿	Annual Conference Committee	16
私のクラブ	My Club	17
私のカウンスル	My Council	22
ITC 宣誓及び声明文	ITC Pledge & Mission Statement of Japan Region	裏表紙

第27期日本リージョン会長挨拶

使命 Mission 情熱 Passion 行動 Action

第27期 ITC 日本リージョン会長 大野 三恵子



使命、情熱、行動。アメリカの新しいリーダーは「道のりは長く険しいけれど希望を持って共に歩もう」という言葉と共に困難な世界情勢の中で立ち上がり、選ばれました。

それとは比べようもない私たちのITCの小さな世界にも、**使命、情熱、行動**は必要です。各地でカウンスル第1回会合が意欲的に開催され、クラブにおいても既に今期の半分の例会が会員の努力によって行われました。

会員の皆様は、それぞれの場で役目を引き受けられたときに**使命**を感じ、実際の行動に移されています。どんなことにも目的意識を持ち、**情熱**を注がなければ**行動**には現れて来ません。会員のために何が役に立つかを考えるとき、思慮深い決断と行動、そして何よりも人との綿密なコミュニケーションが必要となります。

お互いを尊敬し合い認め合いながら事を進めてゆけば、その成果は何倍もの大きさになって返って来ます。そんな素晴らしい世界を私たちの周りに作りましょう。

そして、この学びの場においてよかったと心から思えるITCの輪を更に広げてゆきましょう。

The President's Message

Mission, Passion and Action

The 27th President of the Japan Region **Mieko Ohno**

Mission, Passion and Action. A new leader in the United States of America arose with the words “let’s walk together in hope though the way is long and steep.” These words came during difficult world affairs, and he was chosen.

In our small world of ITC (which can’t compare with the country) we also need **Mission, Passion, and Action.** The first meeting has already been held, full of hope and aspiration, at each council. Every club has completed half of the meetings of this term. This has been accomplished with the efforts of many members.

Members feel the **Mission** when they take up each of the roles, and then translate that mission into **Action.** Such **Action** is impossible without your intention and your **Passion** in the work. When considering what is useful for members, it is necessary to make prudent decisions and action, and it is most necessary to have good person to person communication.

If we are going ahead, respecting and valuing each other, the result will be a return of our effort by many times. Through our work together, let’s make a wonderful world in our surroundings. Let us extend the circle of ITC further, in which each of us can be sincerely grateful to be in the place of such learning.

委員長からのメッセージ

Messages from Committees

スピーチコンテスト委員会

委員長 村山 紀子

“暖かな眼差し”

日本語の部・英語の部の両方のコンテストに大勢の方々に参加していただきたいと願いながら、スピーチコンテスト委員会は家族のように心をつなげて計画を練っています。

スピーカーの皆様が日頃の学びの成果を十分に発揮できるように、聴衆の方々が心地良く暖かな眼差しでスピーチを聞くことができるように、また役目を担う会員が戸惑わないように、環境を整備しています。審査員投票用紙や計時報告書の見直し、使用言語の統一、「スピーチコンテストの規則と任務」に対するQ & Aと審査の詳しい手順の作成など、コンテストの資料の改良をしました。これらの資料は役員会便り No.6 で配布しました。

リージョンスピーチコンテスト委員会だけではなくクラブとカウンスルスピーチコンテスト委員長からのご意見やご質問に耳を傾けながら、準備を進めています。

日本語のスピーチでは美しい表現があることに気がつきます。たとえば夕日が沈む頃を「黄昏」といいます。英語は主語・述語・目的・補語が明確な上、ノンヴァーバル（非言語）コミュニケーションが豊富です。どちらのスピーチにも心を捕らえられと思います。参加者の暖かな眼差しはスピーカーの励ましとなり、良いスピーチの競演になることでしょう。

寄付・遺贈委員会

委員長 藤原 いと

寄付・遺贈について

日本リージョン会員の皆様には、いつも「寄付・遺贈」について、ご理解、ご協力を賜りまして誠にありがとうございます。

寄付・遺贈委員会の取り組んでいる活動は3点あります。

- ① Sponsorship（後援）・・・ジーニスクラブ（若者のためのクラブ）をスポンサーすることはもとより、組織や法人のサポートを得るための活動をする。
- ② It's for ITC・・・会員やクラブから集められた基金は一般に教育、訓練、マーケティングのような特別プロジェクトを運営管理する。
- ③ Adoption Option・・・会費の肩代わり制度で、クラブを援助する目的で使われる。

これらの活動を推進することにより、寄付・遺贈委員会は、財政の建て直しに取り組み、スポンサーシップの活動を通して、ITCを外部に宣伝すると共に且つ資金を増やしてゆき、集められた基金は、すべて寄付・遺贈委員会を通して処理されます。寄付や遺贈による基金は当面キープされ、必要な時に必要なプロジェクトや教育関連にのみ使われ、基金の用途は会員にお知らせいたします。

寄付・遺贈委員会の活動について会員の皆様方のご理解をいただき、ITC発展のため趣旨をお汲みとり下さり、ご協力をお願いいたします。

『PREM 委員会マニュアル』をお読みにになりましたか？

リージョンのウェブサイトに『PREM 委員会マニュアル』が掲載されている事をご存じですか。

PREM 委員会は2年前に会則変更により出来た新しい委員会ですが、会員になじみが薄く各レベルの委員長からも指導の拠り所になる物が欲しいとの強い要望が寄せられていました。リージョンでは急ぎマニュアルが必要と考え、組織運営研究委員会に『PREM 委員会マニュアル』の作成を依頼し、委員会は全力を傾けてマニュアルを作り上げました。

マニュアル作成において役員会からの要望は、日本の現状に適合し、PREM 委員会の4部門（広報、新会員獲得、増設、メンタリング）の指針となり、簡潔で理解しやすい内容である事。特にメンタリングに関しては詳細且つ具体的に、そして、11月中に完成をとの指示がありました。

マニュアルを全く無の状態から短期間に作り上げる作業は正直戸惑いましたが、PREM に関係する参考文献の入手から開始し、集めた膨大な資料の中から必要事項を抜粋して「素案」を作成しました。この時点で、大野会長出席のもと委員会を開催。リージョン会長経験者3名を含む委員会では、活発な意見交換によりマニュアルが形作られてゆきました。その後Eメールでの校正を重ねて役員会に提出し、厳密な検討と承認を経たのち予定通り11月末には完成し、リージョンウェブサイトに掲載されました。

「やっとPREM 委員会の輪郭が明確になり活動もし易くなった」との言葉や、京都でのCMTにマニュアルを早速利用されたと聞いています。今後各カウンスルでの研修や、クラブで活用して頂けたら、組織運営研究委員会にとって無上の喜びです。

会員の皆さん『PREM 委員会マニュアル』を是非お読みになって下さい。

原文に忠実で、正確、明快な監修を目指して

先期まではリージョン事務局長の下、監修者として活動してまいりましたが、今期は特別委員会として活動させていただくこととなりました。委員会の体制としては従来通りです。先期に引き続き、原文に忠実で、正確、明快な監修を目指したいと思っております。F t Bの監修、その他、役員会の要請に応じて翻訳資料等の監修を行います。

私は辞書を数年ごとに買い替えます。言葉は生きており、辞書も一種の「生もの」ともいわれます。つまり、辞書といえどもその内容が時代に応じて少しずつ変化しているからです。ITC用語も時代の変化とともに変える必要がある場合があるかもしれません。リージョン役員会や各委員会から具体的な問い合わせがあれば監修委員会において原文に照らして検討し、その結果を『ITC用語集』に反映し、より充実したものにしていきたいと思っております。

Fellow of ITC からのお知らせ

Information from Fellow of ITC

＜パワートークショートコース 6モジュールとは！！＞

勉強会にぜひご参加を！

Fellow of ITC 泉 和子、小菅あけみ

Power Talk ITC という教育資料が、日本ではピンク・黄・青の3冊一体になった翻訳版で3年前に出版されましたが、この度の「パワートークショートコース6モジュール」(モジュール=課題)は、それを短く6課題に纏め直した、スピーチやコミュニケーションに役立つ研修材料です。場面ごとの判り易い教え方説明書付きのこの資料を、会員がマスターし、ショートコースリーダーとして資格を取って頂くという「**会員レベルアップ**」の目的の他に、外部の方にも参加して頂き、引き続き興味のある方々をクラブにお誘いしようという「**会員増強**」の目的でこのコースが設定されました。その後6月末に開催予定の「トレインザトレイナー」は、リーダーの資格取得コースで、今回の「ショートコース」修了者の中から、是非何人かの方々に挑戦して頂きたいと考えています。

この6モジュールも、パワートークの教材としてクラブやカウンスルでの研修に使うこともできますので、参考のため、各セッションの内容を記しておきます。

セッション1	スピーチの構成	－ スピーチの組み立て方
セッション2	壇上での態度	－ よりよい発表のための緊張感コントロール
セッション3	効果的な声の使い方	－ 声を最大限に生かす
セッション4	ボディランゲージとジェスチャー	－ 言葉をサポート
セッション5	技術/視覚補材	－ プレゼンテーションを華やかにするツール
セッション6	実践的な話し方	－ 全体のまとめ

さて、これに関心のある方に口頭でご説明するためには、私ども Fellow of ITC が開催する会合にご参加下さり、教え方を実践する練習をして頂く必要があるのです。

この度、次の3箇所でその勉強会(ワークショップ)を開催する段取りになりました。研修の全行程は6~8時間かかりますが、日本では2回に分けて実施します。

A	① 3月1日(日)	② 3月22日(日)	東 京 (カウンスル No.8 方面)
B	① 3月31日(火)	② 6月24日(火)	米 子 (カウンスル No.7 方面)
C	① 5月29日(金)		京 都 (No.1,2,3,4,5,6 方面)
	② 各カウンスル最終会合当日の開催時間の前後		各 地

もしこの開催場所や期日が、ご自分のご都合に合いましたならば、ぜひご参加をお考え下さい。受講料は不要ですが、交通費、昼食代(部屋代を含む)と資料代(実費)は各自ご負担下さるようお願いいたします。より詳しい準備状況は、今後各方面へ直接メールでお伝えします。

この人にスポットライト！

Spotlighting a Member



雑誌「旬遊」創刊5周年記念インタビューにおいて“ITC教育のすばらしさ”を紹介された高木彬子カウンスル No.4 元会長にご登場いただきました。

カウンスル No.4 ひろしまクラブ 高木 彬子

「思わなければ、そうはならない」

私はいつも事を始める時に、まず松下幸之助さんのこの言葉を大切にしています。

そして私は次の二つの理由でこの組織の優れた面に惹かれていましたから、もっと掘り下げて深く知る機会かと、キャリア不足ながらカウンスル No.4 第20期の会長をお受けしたのです。

私がこの組織に引かれた理由

其の一 これからは、女性も仕事を持つ時代がくるであろうことを予見した創設者、アーネスティン・ホワイト女史の「女性も、知性や、行動を磨き、自分の考えを明確・簡素に表現し、お互いに伝達する能力を磨く必要がある」という言葉の中に、現代にこそ必要とされる自立した女性像がはっきり描かれているということにです。

其の二 コミュニケーターの中に記載された次の引用文

「指導力とは、人をひきつける魅力があるということではない。指導力とは、多くの人と親しくなり、人に影響を及ぼす力があるということでもない。指導力というのは、個人のビジョンをより高いものに引き上げ、行動基準のレベルを高め、普通あると思われる限界を超えて人格を築き上げる力を言うのである。」
ピーター ドラッカー

これほど創設の理念が明確で、このドラッカーのメッセージを最適とするこんな素晴らしい指導力の訓練の仕組みがあるのかと感動し、ITCを生涯学習の糧にしたのです。

でも好きなだけで仕事ができる訳でなく、一年の任期中で沢山項目を並べても、どれも中途半端に終わるに違いないと、ITCの伝統に磨きを掛ける気持ちで焦点を絞って広報活動に力を注ぐことにし、予算配分も重点的にそこに集中しました。

外部広報としては、こんなに素晴らしい組織なのに世間の認知度が低いことに、まず会長は正しく組織を語れなければならないと、その時の米門委員長の計画に動かされ、「旬遊」の取材を受けたわけです。目先の会員集めより、まず理解者を増やそうと、安芸クラブ再生のためにオープン例会も行いました。



一方で内部広報の強化を図って、リージョンテーマ「刷新と再生」を一貫性ある動きにするためには、もう一度原点に立ってこの組織を見直す必要があるとプログラムの中にフォーラムを取り入れ、加藤啓子リージョン会長とカウンスル No.8 議会法規役員、小林令様に語っていただきました。

そんな中から、組織に属していると苦手なことでも努力して行わねばならず、それには総合的な人間力が必要で、最も大切な円滑なコミュニケーション法が身につく、組織と自分は一体であることも身をもって経験させていただいたことを心より感謝しております。

カウンスル会長を終えて今感じていることは、誰もみなそれに気付かないうちに、型にはまってしまっているような気がしています。クラブは形式や手順にこだわるのではなく、より効果的に時間、労力、経験を使うために自分で考え、変える勇気も必要ではないでしょうか。

これからも枝葉の情報に流されず、揺るがぬ幹をしっかりと支柱にしたいと思っております。

ITC の地域社会活動

ITC Activities in Society

◀◀ 姫路クラブ・しらさぎクラブからの発信 ▶▶

「自分らしくさらに輝くために」

姫路クラブ第24期会長 三木 千春



第24期 ITC 姫路クラブは、11月15日、16日「あいまっせフェスティバル 2008」（主催：姫路市、あいまっせフェスティバル実行委員会）に参加しました。

姫路クラブは、姫路市男女共同参画推進センター「あいまっせ」に登録している関係から、フェスティバルの企画「家田 莊子講演会」の司会を担当しました。

「あなたの生き方応援します～自分らしくさらに輝くために～」の演題で家田氏が講演され、300人以上の参加者の熱気に包まれたホールの中、姫路クラブのメンバー 2 人が ITC で培われた訓練の成果を発揮し、無事司会の大役を務めることができました。

去年は、「あいまっせステーション」の司会、今年は講演会の司会をし、ITC は司会が上手という認識を持って頂いているように思います。ITC メンバーにとりまして成長を促す貴重な経験をさせて頂き、また自分達が行ってきた勉強の成果を確認する場ともなりました。まさに家田氏の講演の副題「自分らしくさらに輝くために」を実践している団体として、広報につながる地域社会活動を行うことができました。

あいまっせ
I-message

しらさぎクラブ第19期会長 森下 信代

しらさぎクラブがチャーターされて間もない頃でした。カウンスル会長テーマ「ITC を社会に活かそう」のもと、クラブではどうすればそれに応える事ができるのかを話し合い、ネームバリューのあまりなかったこの地域で ITC を広く知って頂くため広報活動に重点を置き、新聞社やミニコミ誌にスピーチコンテスト、就任式等の情報を機会ある度に提供してきました。また市公報誌に女性フェスティバル参加団体の募集記事を見つけ、ITC をより広く社会に知って頂くための最良手段と考え応募、参加しました。その後、姫路市男女共同参画推進センターが設立され「I message」と「愛あるメッセージ」の両方の意味を込め「あいまっせ」と命名されました。これを機にクラブ例会場をここに移しました。現在48登録団体が市のバックアップを得て年 1 回各団体の活動報告も兼ね「あいまっせフェスティバル」を開催しています。こうした活動を始めてから14年が経ちます。他の団体、市とは期首月が異なる為メンバーは毎回大変な思いを致しますが





「継続は力なり」と頑張っています。今では他の団体との交流も深まり「司会は ITC に…」とフェスティバル実行委員会の中からも推挙されるまでになり、今回もメンバーがオープニングセレモニーの司会を務め又 2 時間のワークショップ（テーマ：これからの暮らしどうなるの？）を持ちました。例会とは異なりますが ITC で培ってきた事が毎回スキルアップして活かされている事を実感しています。今後も広報活動も併せて「ITC を社会に活かす」ことができればと考えています。

◀◀ 尾道クラブからの発信 ▶▶

「第 5 回 尾道市内小・中学生スピーチコンテスト」を実施して

カウンスル No.4 会計 山本 映子

第 5 回 尾道市内小・中学生スピーチコンテスト 実行委員長

ITC 日本リージョンカウンスル No.4 に所属する私たちの尾道クラブは、認証13年目、瀬戸内の小都市にて学ぶ、現会員数18名・重複会員 1 名の小さなクラブでございます。

2004年に、時のリージョン会長のテーマ「社会への発信」、また、尾道市が子ども達の健全育成の一翼にと、「地域との協働」を掲げたことに呼応し、尾道クラブの社会貢献と ITC の P R を目的に開催しましたのが「第 1 回尾道市内小・中学生スピーチコンテスト」でした。

爾後、継続的に開催し、今期12月には、第 5 回目を終了することができました。

今期より、尾道市教育委員会学校教育課の小中学校年間行事の一つに組み込まれましたので、この事業が「教育という観点から重きを成してきていること」を感じております。

喜ばしい反面、責務も重く、心して備えていくことの重要さも加算されています。

然し ITC は、私たちを磨き育む組織体でありますから、その学びが、社会を司る一等大切な教育の現場で生かされることは、一つの誉れであると信じ、会員一同がんばっております。

様式は、ITC の S C ・規則と任務にほぼ副い、子ども達向けに少し変更、簡略化し、実施しておりますが、小・中学生各々 7 名の柔らかな感性を持ち合わせた子ども達のスピーチは、聞かざる者の胸を打ち、心あたたまるものを覚えます。また、子ども達であるが故に、コンテストという競いの中で、「自らを磨き、成果が得られるように学んで頂きたい」そしてそれは「大切なこと」という願いも抱いております。

言葉という手段を使い、伝えることを精一杯発揮して、その中から新たな発見や感動、感慨を導き出し、今後に繋ぐ… 唯々、期待するばかりです。

それが故に、毎年の実施に努め、次々と子らの心に写し残したいと思っているのです。



第27回日本リージョン年次大会ご案内

Invitation to the 27th Japan Region Annual Conference

大会テーマ **「みのり」 “HARVEST”**

開催日： 2009年6月28日(日) ・ 29日(月) ・ 30日(火)

場 所： ウェスティン都ホテル京都



大会コーディネーター

西阪 宣枝 (京都)

コ・コーディネーター

川島 啓子 (京都)

第27回日本リージョン年次大会は、大会テーマ「みのり」のもとに、自然と人を重んじる世界こそ美しいと感じ、そうした和みの心をもてなしの文化へと昇華させた京の都、美しい自然と奥深い文化のかおり高い京都で開催いたします。この最高の環境の中に集い、さまざまな企画を楽しみながら、心ゆくまでより多くを学び、そして懐かしい再会、新しいお出合いの温かい交流による「みのり」多き大会となりますように準備委員会一同心を一つに準備を進めております。

第1日目の夜、大会の前夜祭、「ウェルカム・パーティ」も準備いたしております。京の地ならではのおもてなしで、鴨川の自然と京料理を楽しみながら気軽なおしゃべりは交流も深まり大会へのさらなる高まりともなり、きっと心に残る夏の宵となる事でしょう。椅子をご用意しております。お気軽にご参加下さいませ。

第27回日本リージョン年次大会にお一人でも多くのご参加を心よりお待ち申し上げます。

Invitation to the 27th Japan Region Annual Conference

The 27th Japan Region Annual Conference will be held in Kyoto under the theme of HARVEST. Our ancient capital, rich in natural beauty and traditional culture, has always respected the harmony between the people and the natural environment. Also the spirit of hospitality has been well developed. Kyoto is a perfect place for ITC members to get together, attend various programs and learn a lot as well as meet old and new friends. The committee is now working hard to make the conference successful with a good HARVEST.

On the eve of the conference, a *welcome party* will be given in a sophisticated Kyoto style. At the party, local cuisine can be tasted while viewing the Kamo River and enjoying chatting. It will certainly be a memorable summer night.

Chairs will be available for all the attendants.

We committee members hope as many members as possible will take this opportunity to participate in Japan Region Annual Conference.

第27回日本リージョン年次大会プログラムのご案内

第一副会長/プログラム・教育委員長 葛谷美紀子

リージョン大会では3日間に亘って教育が行われます。

1日目は、カウンスル新役員・委員長へのトレーニング（Council Management Training）と、国際レベルがリージョン大会で行う研修会（Training Power Pack）です。

2日目の教育セッションでは、楽しく参加し学ぶ中から、どうしたらもっと深く学習できるのか、自分たちも教えるようになれるのかを探って戴きます。

3日目の講演では、「いのち」を意識し、「有限である生」に向き合ってみましょう。

部屋から部屋へ走り回らなくても良いように、3日間のタイムスケジュールにゆとりを設けています。古都での「みのり」の大会をゆったりと味わってください。

大会プログラムが皆様の心に届き、新たなパワーをもたらしてくれると信じて、委員会一同は励まし合いながら準備を進めています。

講演：2009年6月30日（火） 10：30～11：50



京都大学大学院教授 **カール・ベッカー氏**
(Carl B. Becker)

『心は 元気か』

— 身体健康と本当の「気持ち良さ」の鍵 —

「自分らしく生きる」とは一体何でしょうか。先生の専門分野である、死生学、医療倫理、生命倫理等の観点から、勇気と希望の湧く生き方を私たちに提示していただきます。

<プロフィール>

1951年 米国シカゴ生まれ

ハワイ大学大学院哲学研究科終了 1981年同大学哲学博士号取得。

ハワイ大学、大阪大学、筑波大学等の教歴を経て現在京都大学大学院教授。

日本研究の分野において国際教育研究会（SIETAR）より国際理解賞を受賞。

ロンドン及びボンベイの大学より其々名誉博士号を授与される。

環境を含む生命倫理、医療倫理等の研究、講演等で国際的に幅広く活躍中。

日本宗教学会理事、日本生命倫理学会理事等々、日本でも多数の要職を歴任。

「死の体験」「生と死のケアを考える」「脳死と臓器移植」「危うい日本の生活環境」など多数の著書がある。

第27回日本リージョン年次大会プログラム予定表

ITC Japan Region 27th Annual Conference Program Plan

ウェスティン都ホテル京都 THE WESTIN MIYAKO

6月28日(日) June 28th (Sun.)

12:00～12:30	登録受付 CMT受付	Registration
12:30～13:30	昼 食	Lunch
13:30～15:00	カウンスル運営研修会	Council Management Training
15:15～16:45	トレーニング パワー パック	Training Power Pack
17:45～18:20	登録受付	Registration

6月29日(月) June 29th (Mon.)

8:20～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:20～ 9:45	登録受付	Registration
9:00～ 9:45	派遣員説明会	Briefing for Delegates
10:00～10:50	入場、開会式	Opening Ceremony
10:55～12:10	議事会議・選挙	Business & Election
12:10～13:00	昼 食	Lunch
12:30～13:00	登録受付	Registration
13:10～15:20	スピーチコンテスト (英語)	Speech Contest (English)
15:20～	選挙結果発表	Election Report
15:30～16:40	教育セッション	Training Sessions
17:40～18:00	晩餐会受付	Banquet Registration
18:00	晩餐会開会	Opening
18:20～19:50	晩 餐	Banquet
19:50～20:20	役員就任式	Installation
20:20～21:00	エンターテイメント	Entertainment
21:00	閉 会	Adjournment

6月30日(火) June 30th (Tues.)

8:20～ 8:50	派遣員登録受付	Registration for Delegates
8:30～ 9:00	登録受付	Registration
9:00～10:00	議事会議	Business Session
10:00～10:30	休 憩	Break
10:30～11:50	講 演	Lecture
12:00～12:50	昼 食	Lunch
13:00～15:20	スピーチコンテスト (日本語)	Speech Contest (Japanese)
15:30～16:30	閉会式 表彰・報告・案内	Adjournment Awards・Reports
17:00～18:30	評価 リージョン運営研修会	Evaluation Region Management Training

教育セッション一覧表

6月29日(月) 15:30~16:40

講師紹介：①プロフィール ②内容

<p>A 「能って何？に答えます」</p>  <p>井上 裕久 師</p>	<p>①観世流シテ方 京都在住 昭和30年生まれ 井上家11代目 九世井上嘉介長男 二十五世宗家観世左近、二十六世宗家観世清和及び父嘉介に師事。国指定重要無形文化財能楽技能認定者。5才で仕舞「春栄」にて初舞台、10才で能「吉野天人」にて初シテ。流儀現行曲210番中、150番を演能済。</p> <p>②能は600年以上も昔に生まれ、日本が誇る伝統芸能の一つです。現在では国連ユネスコ世界無形遺産にも指定されています。</p> <p>能は、人間性の最も素朴な衝動を 謡と舞い・囃子（はやし）で表現されるものですが、深い幽玄美のため、時には「能はむつかしくて、理解しにくいもの」と思われがちです。しかし、井上裕久師による美しいお声と舞い、装束の着付けなどの実演付きのわかりやすい解説は、能の世界への扉を大きく開けてくれるでしょう。</p>
<p>B 「コミュニケーションとコーチング」</p>  <p>森田 恵子 氏</p>	<p>①岡山県生まれ KSB瀬戸内海放送アナウンサー、NHK岡山放送局キャスターを経てフリーに。就実高校2年の時、第32回NHK杯全国高校放送コンテストアナウンス部門優勝。FM岡山「Fresh Morning OKAYAMA（水・木）」など担当。就実大学表現文化学科非常勤講師。財団法人生涯学習開発財団認定コーチ。「おかやまアナウンススクール」代表講師。</p> <p>②みなさん、コーチングってご存知ですか？ コーチングの三原則とは</p> <ul style="list-style-type: none"> ・双方向のコミュニケーションであること（Interactive） ・継続的にコミュニケーションを交わすこと（Ongoing） ・相手にあったコミュニケーションスタイルをとること（Tailor-made） <p>です。コミュニケーションの大切さと質の向上が求められている今、実践を行いながら、一緒にコーチングとコミュニケーションについて勉強してみましょう。</p>
<p>C 「ストレス社会を生き抜く処方箋 香りのマジックパワー！」</p>  <p>浅井 隆彦 氏</p>	<p>①日本アロマコーディネーター協会常任理事 横浜市立大学、中和鍼灸専門学校卒業後、フランスで鉱泉理学療法を学ぶ中でアロマセラピーに出会う。美容やスポーツ、代替医療などで、東洋医療とアロマセラピーの融合医療を目指し各方面で活躍。「教本オイルマッサージ」「世界のマッサージ」他著書、DVDなど多数。</p> <p>②西洋由来のアロマセラピーが日本に上陸して二十数年。一方、日本にも香道の嗜みにみられるように、香りに親しんだ文化があります。そこで本セッションでは、西洋と東洋を融合させながら、日本の風土に合った日本式アロマセラピーを提案します。五感の中でも感情系にストレートに刺激が行き届く芳香療法で、現代ストレスの根源を解消するきっかけとなれば幸いです。</p>
<p>D “Y=2×I Why?=to Excel !”</p>   <p>小菅 あけみ 会員 杉谷 和代 会員</p>	<p>①小菅会員 SC Fellow of ITC ITC歴24年 サンデークラブ会員 柏市教育委員長 柏市国際交流協会副会長 杉谷会員 SC ITC歴21年 終身会員 イースト神戸クラブ会員 来日外国人英語教師のリロケーションアドバイザー</p> <p>②2008年サンフランシスコのITW（International Training Weekend）で行なわれた元国際会長 Wilna Wilkinson SC FITC の Evaluation のワークショップに参加した二人が Wilna の協力を得、Wilna 独自の資料と Helen Wilson の資料をミックスし、ITWの一部を再現しようと日本リージョン版評価ワークショップにとりくみました。Wilna の独創的なマジック公式は評価に特別効果を与えることに注目しながらこのワークショップを体験してください。（英語で行われます。）</p>
<p>E (予定)</p> <p>「聞いてガッテン！ TVの舞台裏」</p> <p>小野 文恵 氏</p>	<p>①NHKアナウンサー 広島県出身。平成4年NHK入局。山口放送局を経て、平成9年から東京勤務。 毎週放送の『ためしてガッテン』『鶴瓶の家族に乾杯』『土曜スタジオパーク』をはじめ、特集番組などでも活躍。昨年は、大晦日の紅白歌合戦で総合司会を務めた。</p> <p>②日々、放送の現場で大切にしている“伝えること”の積み重ねから生まれた数々の体験談。一緒に「ガッテン」いたしましょう。</p> <p>(2009年度の番組スケジュールによっては、講師を担当できない場合もあります。)</p>

第27回日本リージョン年次大会申込要領

会員は、「リージョン大会申込書（会員用）」「リージョン大会申込書（ゲスト用）」「宿泊申込書」に必要事項を記入して、クラブ登録担当者（会計、CLOなどメールのできる方をクラブで決める）に提出してください。

1. 役職名には次の役職のみ記入してください。
リージョン役員、リージョン常任委員長、リージョン特別委員長、リージョン元会長、各レベル会長、リージョン派遣員および派遣員代理
2. CMT、ウェルカムパーティー、晩餐会のみ出席の方も、ゲストを除き登録費が必要です。
3. CMTに出席しなくても28日に受付をしたい方は、28日に○をつけてください。
4. 欠席の方（賜暇会員を含む）は、欠席協力金をお願いします。
5. 代金（宿泊は各自ホテルにて支払う。）は申込書と一緒に、クラブ登録担当者へ提出して下さい。
6. 取り消しや追加等の変更は速やかにクラブ登録担当者へ申し出てください。
但し、2009年5月25日（月）以降の取り消しは返金できません。
7. 重複会員はITC会費を納めているクラブから登録して下さい。

クラブ登録担当者は、リージョン役員会便り No.8 をご覧頂き、申込み手順に従ってください。

1. 2009年4月25日（土）迄に指定された宛先（登録、宿泊）に申し込んで下さい。
2. 申込の追加、取り消しの締切は2009年5月25日（月）です。変更のないクラブも「変更無し」のメールを送信してください。
3. 登録申込金は登録後2009年5月26日（火）～30日（土）の間に大会会計へ送金し、送金送り状もメール送信してください。

ホテル宿泊申込（クラブ登録担当者へ提出）

ウェスティン都ホテル京都 〒605-0052 京都市東山区三条けあげ

TEL：075-771-7111(代表)

FAX：075-751-2490

ホームページ：<http://www.westinmiyako-kyoto.com/>

部屋タイプ	ツイン（1名利用）	ツイン（2名利用）
部屋記号	T-1	T-2
料金（1名分）	18,500円	11,500円

1. 朝食・税サービス料込みの料金です。
2. 部屋タイプは上記記載の記号（アルファベット＋数字）をご記入下さい。
3. 2009年4月25日（土）に申込を終えた後、5月25日（月）までの変更（取り消し、追加等）はクラブ登録担当者へ、それ以降の変更は各自ホテルへ直接連絡して下さい。
4. 宿泊費のお支払いは、各自チェックアウト時をお願いします。
5. チェックイン：15：00 チェックアウト：11：00
チェックインは原則としてフロントカウンターで行って下さい。
6. キャンセル料 20日前・・・10%
9日前・・・20%
前日・・・80%
当日・・・100%

第27回日本リージョン年次大会観光のご案内

〔おこしやす 京都〕

ウェルカム・パーティ《8千円》



日 時：6月28日(日) 午後6時(受付)～9時

場 所：“鶴清” 五条大橋木屋町上る(電話 075-351-8518・0591)

第27回年次大会へ向けてリラックス、助走、前奏の夕べです。日頃会えない会員とおしゃべりはずむ鴨川畔。お楽しみいっぱい！ ご期待下さい。(椅子席を用意しています。)

プランA

京都宇治バスツアー《1万円》



日 時：6月28日(日) 午前10時30分 集合

行 程：京都駅 八条口 団体バス乗場出発 ⇒ 黄檗山萬福寺参拝 普茶料理

平等院・源氏物語ミュージアム見学 ⇒ ウェスティン都ホテル京都4時30分頃

中国の隠元禪師開山(1661)、明時代の建築様式萬福寺で中国式の精進料理を賞味します。そのあと藤原頼道開創(1052)、平等院(世界遺産)を拝観し、阿弥陀如来坐像を始め数々の国宝にふれ、極楽浄土の世界に浸って頂きます。

次に千年の時空を超えて広がる王朝絵巻の優雅で華やかな世界、源氏物語五十四帖中、終章の十帖の地に平成10年開館、昨年9月リニューアルオープンした源氏物語ミュージアムを訪れます。

担当委員 武田 公子(京都クラブ)

プランB

祇園・円山～高台寺・清水寺散策コース《8千円》



日 時：6月28日(日) 午前11時

集 合：祇園八坂神社石段下(四条通り東山つき当たり)又は直接下記会場へ

会 場：料亭「左阿弥」円山公園内徒歩10分(電話 075-531-0088)

街のいたるところに名所・旧跡が点在する京都、中でも東山界限は、季節を問わず観光客で賑わう、京都きっての「散策エリア」です。

与謝野晶子が詠んだ「清水へ祇園をよぎる桜月夜今宵逢う人みな美しき」のコースを巡り、四季折々の表情にこころ和むひと時をお過ごし下さい。

料亭「左阿弥」での昼食後には、京舞妓の「祇園小唄」や「京の四季」の踊りも併せてお楽しみ頂きます。その後3時30分頃まで希望者のみに散策案内をいたします。

担当委員 米澤 良子(京都クラブ)

観光へのご質問はいつでもお気軽にお尋ね下さい。

観光委員長 井上 暁子：TEL&FAX 075-322-7188

E-mail akinoue@paw.hi-ho.ne.jp

ITC第27回日本リーグ年次大会準備委員会名簿

2009年6月28日(日) 29日(月) 30日(火)

大会コーディネーター 西阪 宣枝
 コ・コーディネーター 川島 啓子

委員会	委員長(クラブ)	委員(クラブ)		
大会会計	八田 周子(都)	端 美智子(都)		
登録	宮川 容子(琵琶湖)	小嶋千賀子(金 沢)		
食 事	目片ミヨ子(琵琶湖)	西原久美子(都)	高尾邦仁子(サタデー)	
		本儀 協子(琵琶湖)	大南 純子(琵琶湖)	松尾 裕(奈良若草)
宿 泊	松山喜代子(西宮)	岡田 恭子(淡 路)		
会場・備品	岩井 悦子(琵琶湖)	大林 恭子(平安)	上原紀美子(平安)	中西代志重(サタデー)
		園 仁美(琵琶湖)	鳴神 敏子(奈良若草)	
デコレーション	中川 愛子(京都)	北村 啓子(京都)	小山 孝子(京都)	中西眞佐子(京都)
		加川ヒサノ(北 摂)	高田 繁子(琵琶湖)	
キ ッ ト (名札・リボン)	野間 佳子(都)	吉田 浩子(京都)	阪本 直美(奈良)	竹田 清子(北 摂)
		八幡 衣代(琵琶湖)	我妻 詔子(奈良若草)	木下 光代(金 沢)
儀 典	多田 絵実(都)	井上由記子(京都)	常田 道子(京都)	石田 恵子(平安)
		小嶋 友子(平安)	長尾 悦子(都)	竹端葉都美(琵琶湖)
V I P 接 待	高山 敦子(北摂) (公式訪問者担当)	南部紀代美(阪神・公式訪問者担当)		内海 優(神戸)
		横山 末子(六 甲)	乙野 靖子(北 摂)	江原 恭子(しらさぎ)
ホスピタリティー	中込 寿美(北摂)	端 美智子(都)	高城 良子(北 摂)	小川 雅子(奈良若草)
		乗石まさ子(金 沢)		
インフォメーション	松本喜久子(奈良)	向井 久恵(平安)	水田登茂子(平安)	坂巻美紀子(奈良)
		佐藤 三奈(奈良)	古閑 夏女(北 摂)	吉田 幹子(琵琶湖)
ペ ー ジ	中尾 光子(奈良)	藤井 千里(平安)	山名 泉(平安)	大槻久美子(北 摂)
		外山 弘子(サタデー)	山崎 恵子(サタデー)	柴田 裕美(千里)
		坂本 英子(堺 東)	岩崎 祥子(琵琶湖)	中山 洋子(琵琶湖)
		黒木 徂子(奈良若草)	齋藤 幸子(奈良若草)	谷内希久代(金 沢)
		善田千香子(金 沢)		
写 真	藤原 いと(平安)	安井 由恵(平安)	嶋 雅子(平安)	津吹 朱美(平安)
		不室 律子(金 沢)	井口 紀美(金 沢)	
広 報	近松 淳子(京都)	前川 栄子(京都)		
観 光	井上 暁子(京都)	武田 公子(京都)	米澤 良子(京都)	
受 付	中野 知子(奈良)	田中 和美(大阪)	家村 悦子(京都)	山田千恵子(京都)
		安達 寿子(平安)	城山 博子(平安)	堀井 擴子(奈良)
		前田 智之(奈良)	三井 武子(奈良)	福島 輝枝(城北)
		中井 弘子(城北)	富村 千鶴(北 摂)	関谷 恵子(奈良若草)
		土岐 正子(奈良若草)		
エンターテイメント	立石 峯子(京都)	田中 郁子(京都)		
物品販売	西村 温子(平安)	山科 昌子(平安)		

西宮クラブ (No.3)

“違いを楽しんでいる” 西宮クラブ

西宮クラブ 土川 邦子

西宮クラブは20年前より、入れ替わりはありますが常に男性会員を有しております。

現在は、30代と50代の2名の男性会員が在籍し、一人は前期会長、もう一人は今期プログラム委員長として、クラブの活動において中心的役割を果たしています。

クラブの雰囲気は、ちょうど女子大と男女共学大のような違いがあり、男性会員がいるため私たち女性会員は常にある種の緊張感をもっています。

また、一つのテーマでディスカッションをしても男性の目線での意見は新鮮で、興味深くプログラムはいつも予想以上に盛り上がります。

西宮クラブは、会員の年齢層が30代40代50代60代70代となっていますので、男女の違い、そして世代の違いを楽しんでいるクラブだと言えるでしょう。

さらに2名の男性が入会する予定です。



紀州クラブ (No.5)

紀州ふしぎ発見！少人数力！

紀州クラブ 会長 坂田由美子

紀州クラブは 現在13名の少人数のクラブです。ご想像の通り、例会は役員席とフロアー席に半々といった感じです。人数が少ない分、用意する資料も席も少ないですが、儀典に始まり、例会の全般にわたって文字通り全員参加の例会です。

特に今期は、毎例会で少しずつクリスマス例会や役員就任式などの準備にあたっています。というのは、お客様を迎える為の席札やプログラムをはさむかわいいクリップ作り、役員就任式で皆さんに披露する紀州クラブの秘密の出し物などの練習を毎例会のプログラムにミニワークショップとして取り入れているのです。

このミニワークショップは毎回好評で、全員で例会の準備にあたっていることの自覚と喜びがあり、少人数ならではのスピードある結束力と細やかでにぎやかなコミュニケーションで盛り上がります。わきあいあいですが気楽というわけではなく、一人が何役もこなしているのも、誰も気を抜けない緊張感たっぷりの例会です。

一人一人の持ち味を存分に生かして今期も少人数力！全開！



(順不同)

福岡クラブ (No.4)

「多様性」は 成長の糧

福岡クラブ 会長 富松香余子



福岡クラブは日本リージョン所属クラブ最西端に位置し、明太子・もつ鍋・とんこつラーメンの発祥地「福岡市」に拠を置き活動しています。今期15周年を迎え、現在の会員数は26名です。会員構成を ITC 歴で紹介しますと、後輩の手本でありクラブを牽引してくれる「チャーター会員」、何事にも果敢に挑戦する「中堅会員」、爽やかな新風を吹き込んでくれる「新入会員」となっています。皆、社会貢献をしながら和歌・茶道・写真・社交ダンス・・・等、様々な分野で活躍の場を広げ人生を楽しんでいます。年齢、職業、環境、持論の異なる多様性を持った会員が集うことにより、未知の世界の扉が開き、クラブの活性化に繋がっているように思います。「多様性」は、成長の糧なのかもしれません。

当クラブは、「与えられた役は引き受ける」という喜ばしい教えを受けています。「貴女なら大丈夫だわ」「何事も勉強なのよ」と、笑顔で優しく背中を推されたら、自分にも器量があるのではないかと思ひ引き受けてしまいます。そして、「素晴らしかったわ」「ご苦労様」の思いやり溢れる言葉が、萎えた心を癒し、再び活力を与えてくれるのです。このように、やる気を導き出すコミュニケーション能力や全てを受け入れる寛容さが、会員増に結びついているのだと思います。「博多美人」揃いの魅力ある福岡クラブは、20周年に向け益々成長することでしょう。

盛岡クラブ (No.8)

水と空気のおいしい盛岡から

盛岡クラブ 会長 平野ユキ子

何といっても距離的に遠いのが盛岡クラブです。実は大阪に行くのと同じ、新幹線で東京から2時間半ですから、カウンスルの会合に参加するのも常に一日がかり。仕事を持っている方の多い盛岡クラブ。仕事を休むことは中々出来ませんし、交通費の負担も大きな問題です。

ところで盛岡クラブは、会員増に励んだ結果、今年度すでに2人入会、もう1名が入会予定です。3名入会を果たせば、クラブレベル会員増目標20%に達しますね！

盛岡は北国で、春は遅いが花が咲き始めればまさに百花繚乱。連翹や桜、桃もこぶしも梅も一遍に咲き乱れます。まるで ITC 盛岡クラブみたい(笑) 秋は居ながらにして錦の紅葉のさまを眺められ、市の真ん中を流れる川には鮭が遡上し、街中で産卵する…街中の橋の上から産卵の様子を見ることが出来ます。そして冬の訪れは、白鳥の渡りとともに…。とても自然の美しい街です。東京からは大阪と同じ距離ですから是非お遊びにおいで下さい。冬の寒さは厳しいですが、スキーが出来ますし、温泉にも入れます。冬の露天風呂は最高…！ 厳しい寒さに耐えて暮らす寡黙な岩手の人を詩人高村光太郎は、『沈深牛の如し』と例えた…そう言えば今年が丑年。政治経済低迷の厳しさにひるむことなく、盛岡クラブは『牛歩』の歩みで確実に、一步一步進んで参ります…。



葵クラブ (No.1)



葵クラブの心意気

葵クラブ 会長 杉山 桂子

ITC 会員である私達は、ITC 理念に基づいて、計画された毎月の例会に参加し、切磋琢磨されながら、知らず知らずのうちにコミュニケーション術を修得しています。例会のために学習し、実践し、評価する、という一連の学びを繰り返し鍛えられていくうちに、仲間としての一体感が生じ、共通の価値観が育ち、また社会的経験が各々がう会員の意見は貴重で、常に良い視点から長期展望を見据える力が育つ、物事を処理する能力が育つ、何よりも知己を得て、多くの仲間の支えに感謝の心が育つ等、これこそ ITC の醍醐味といえるでしょう。

さて、30数年間培われた葵クラブの日頃の例会模様を、実に巧妙に、短詩的に表現している「葵クラブ例会心得・虎の巻・数え唄」なるものを紹介いたします。云うべきことは云い、正すべきことは正し、的を得て、ほのぼのとし、会員への思いやりが、ふつふつと感じられます。このような葵クラブの心意気、前向きに厳しく、楽しく仲良く取り組む姿勢を読み取っていただきたいと思います。作者の丹羽美智子さんは、私ども自慢の尊敬すべき先輩会員です。米寿をお迎えの彼女の頭脳は柔軟で、風刺あり、ユーモアありで、いつでも御指南役を快く受けて下さる葵クラブにとって大切な方でもあります。

* 葵クラブ例会心得・虎の巻・数え唄 *

一つとや 一つ槌打ち会長は、開会宣言 爽やかに
 二つとや ふれあい深い絆です、不思議な縁 大切に
 三つとや 見て見ぬふりは止めにして、正しい総評いたしましょう
 四つとや 四角四面じゃ窮屈よ、楽しく個性を発揮して
 五つとや 何時しか染まる葵カラー、ほんわか はんなり 和やかに
 六つとや 難しいのは勝ちと負け、丁々発止のディベートよ
 七つとや 無くて七癖その一つ、「アノー」「エート」に気をつけて
 八つとや やるっきゃないよ 議事法の動議 セCOND 慎重に
 九つとや 苦労重ねたスピーチは、人の心に通じます
 十とや とうとう種も尽きました 閉会時刻となりました ランチタイムといたしまし
 しょう



(順不同)

愛媛クラブ (No.2)

いつも小春日和で

愛媛クラブ 第一副会長 大城久希子



私たち愛媛クラブが活動している愛媛県松山市は、司馬遼太郎さんの『坂の上の雲』の中で次のように紹介されています。一伊予松山というのは領内の地味が肥え、物実りがよく、気候は温暖で、しかも郊外には道後の温泉があり、すべてが駑蕩としているから、自然、ひとに戦闘心が薄い。

暮らしている私たち自身が読んで納得、わがクラブの雰囲気もそのままです。自宅裏のミカン山で作業にいそしむ人、温泉を利用したリラクゼーション施設の運営に携わる人、体調と相談しながらのんびりと海外旅行を楽しむことをライフワークとする人、小学校で子どもたちに絵手紙の手ほどきをして慕われている人・・・そんなメンバーが集って取り組むクラブ例会は、自ずと「こころあたたまる」「自分を見つめ、相手を知るきっかけとなる」そんな効果を生み出していると感じています。

まだまだ歴史が浅く役員も手探り状態の私たちですが、今期は「個性と調和」をテーマに、各メンバーが自分の課題としっかり向き合うことのできる場として、育ててまいりたいと思っております。

倉吉クラブ (No.7)

「多様性をたのしむ」

倉吉クラブ 会長 河野 忍

ITC 倉吉クラブは、経験豊かな会員と、中堅・新人会員で構成され、お互いの違いに敬意を払いながら、もっと自分を向上させたい意欲に満ちあふれたクラブです。

個性豊かな会員が多く、ITC で学んだスキルを短期大学の講師・県レベルの委員・各種団体の長など、地域社会のさまざまな場面で活かし、活躍して、「ITC」の知名度を上げるのに貢献しています。

今期、新入会員として入会された3名は、「議事法を学んで自分が運営する会に役立てたい。人前で話す機会に備えて、スピーチがうまくなりたい。」など、入会の動機も具体的に頼もしい限りです。

最近のITCはIT化・ネットワーク化に合わせて、価値観やニーズの多様化が加わり複雑になってきています。変化するITCの中で、倉吉クラブが次のステップに挑戦するためには、自由に活力を持って訓練をつみ、力をつけて外部と関わり、変化に対応していく姿勢で多様性を楽しむことだと思います。



松山クラブ (無所属)

Enjoy the diversity

松山クラブ 第一副会長 白形 邦増

常に Roster の掉尾を飾る我が松山クラブは日本リージョンで唯一の無所属クラブです。無所属というのは良く言えば自主・独立、悪く言えば根無し草のイメージを与えますが、我がクラブは極めて堅実かつシステムチックに運営されています。松山クラブの特徴は次の三つです。一つ目は多様なバックグラウンドを持ったメンバーの集まりです。メンバーは病理学者、船舶業者、コンピューターエンジニア、建設業者、調停委員等多彩です。お互いのコミュニケーションを通じて社会の仕組みや実情を知ることができます。二つ目はIT 技術をフル活用していることです。例会プログラムも議事録も Google のドキュメント共有機能を活用してインターネット上に作成しメンバーはいつでもアクセスすることができます。また、クラブのホームページにアーカイブ (文書保管) を設けて各種手続きを保存しておきメンバーならいつでもこれらを簡単に引き出すことができます。三つ目は月2回の例会です。英語のスキル向上という点から、月1回では少なすぎるのでトレーニングミーティングで補強しています。ITC メンバーとして社会に貢献するために、我々は常に時代に先駆けたグループであることを目指しています。



平安クラブ (No.6)

Yes, we can. の精神で

平安クラブ 第一副会長 上原紀美子



平安クラブは、来期には30周年を迎え、カウンスル No.6 では京都クラブに次ぐ歴史の歩みを重ねてきました。まだ ITC 歴わずか7年目の私が当クラブを語るのには十分ではないのですが、この事実が当クラブを形成している理念や雰囲気にならざる影響を与えていると思うのです。

当クラブの会員は普段はのんびりしていて独自性を保持し、一見バラバラのようですが、いざクラブとしての目標が決まれば団結します。そして目標の達成に向かって ITC 歴に関わらず忌憚のない意見が飛び交い、コミュニケーションを通して意見は集約され、方向性が定まります。会員の年代はバランスがとれていて30代から70代と幅広く、常に多様な考え方に接する機会に恵まれ、学ぶことが多いのです。

その顕著な現れとして、間伐材利用のコカリナ普及のため音楽好きが集まったグループは各施設のボランティア訪問へと発展し、社会活動に還元されています。

今期リージョン・テーマは「多様性を楽しむ」ですが、当クラブは多様性や相違性の「楽しむ方法」を新入会員に伝えることがなにより大切なことと捉えており、さらに他カウンスル・クラブとの相互訪問によって多様性の楽しみ方のスキルを一層磨いていきたいと思っています。

今期リージョン・テーマは「多様性を楽しむ」ですが、当クラブは多様性や相違性の「楽しむ方法」を新入会員に伝えることがなにより大切なことと捉えており、さらに他カウンスル・クラブとの相互訪問によって多様性の楽しみ方のスキルを一層磨いていきたいと思っています。

(順不同)

カウンスルNo.1 (第36期)

カウンスル No.1 だからこそ

カウンスルNo.1 第一副会長 後藤 絹代



第36期カウンスル No.1 プログラム委員会は、会合は「訓練の場」であることを基盤に、①今・未来に繋がる②プログラム・参加者・フロアーが一体感を共有できる③参加者の感性・個性を活かす、という3本の柱を軸にプログラムの企画・運営に取り組んでいます。ある友人が「宇宙ロボットのネジ、うちで作っているのよ。愛知は、以前からものづくりが盛んなのよ」。さらに、近年飛躍的に進歩しつつあるロボット業界において、ロボットの原点はからくり人形にある。という説があることを知りました。しかも、からくり人形・技術の大半は、我がカウンスル No.1 の地盤である愛知地方で継承されていることも判りました。そこで今期プログラムのテーマを『ものづくり愛知』と掲げ、[パートIからくり人形はかたる]を第一回会合プログラムといたしました。様々の分野で様々な人々が知恵と熱意、工夫で技を磨き、その匠の業は様々な時代を、時には華々しく、時には息を潜めて、けれど、しっかりと大切に継承されてきました。その事実は、レポーターの感性・意欲を高め、レポーター各々の個性を引き出し活きたスピーチの基となりました。そして実演によるからくり人形の妙技・人形師の心意気を十二分に楽しみました。「楽しい会でした。勉強させていただきました。」萬屋仁兵衛人形師の感想。

カウンスルNo.2 (第28期)

磨き合う仲間でありたい

カウンスルNo.2 第二副会長 鷓山 紀子



カウンスル No.2 は、それぞれに歴史を積み重ねてこられ、そのクラブにしかない個性や特色を持ちあわせた9クラブから成り立っています。多様なクラブが集まってお互いを支え合い、刺激し合い、学び合う場がカウンスルであると思います。

第28期但野眞理子会長のテーマは“智と情”。「智は知識であり教養であり、そこへ情緒的なゆとりや楽しさをプラスしたい」という会長の思いを形にすべく、カウンスル第1回会合は『笑顔と言葉のちから～魅力的な人になるために』をテーマに、大阪・京都・神戸の三都物語が展開されました。講師は、研鑽を積まれた経験豊富なベテランからフレッシュな男性まですべてITCのメンバーで三人三様、活動的で華やかな大阪人（おおさかびと）からはダンスのステップを学び、京都人（きょうとびと）の品格とたしなみを学び、そしてハイカラ神戸人（こうべびと）からは即実践できるスカーフの結び方を教えていただきました。終始なごやかな雰囲気、スピーチに引き込まれ身体を動かし、なんと豊かな時間であったことでしょうか。プログラムはみんなが参加し楽しめるように工夫され、時間をかけて丁寧な企画された手作りのもので、これも会長の「クラブ間の交流に重点を置き、素晴らしいプログラムを共有できるようにしたい」という思いにそったものでした。

今後も活気あふれるカウンスルであり続けること、そしてITCの良さや楽しみを共有し磨き合える仲間をひとりでも増やすこと、これが会員委員長としての願いです。

カウンスルの役割

カウンスルNo.3 第一副会長 中島由美子

今期、教育では評価が会員の能力開発、向上に必要であるとの観点から「口頭評価」、「書面評価」、「プロによる評価」を取り上げ、クラブでの研鑽を基礎に、より高度な学習の機会、正しい知識を身に付ける機会を提供する計画を立てました。第一回会合では狂言師の茂山七五三氏に「伝える者、受け継ぐ者」のタイトルで伝統を紡いできた課程でのコミュニケーションの話とジェスチャーを用いた究極のコミュニケーションである狂言を通して、参加者はコミュニケーションの持つ素晴らしい力を実感できたと大変好評でした。



第二回会合のスピーチコンテストでは全参加者が各自の視点で評価し、正規のジャッジの結果との比較から広く多く学べれば・・・と考えています。第三回会合では全クラブから選出の3グループで競うプレゼンテーションを理路整然且つ適切に評価をして頂けるよう、プロの評価者 山中千賀子氏に依頼しており、広い視野の学習になれば・・・と期待しています。また会員数減少の現実を踏まえ、円滑な例会運営が出来るように、サービスビューローの再生を計り、各クラブの要請に基づいてより充実した例会ができるようサポートしています。クラブだけでは出来ないことを計画実行し、会員の相互理解、相互補助を支えることがカウンスルの役割と考えています。

『人が茶碗を投げたら、真綿で受けなさい』

カウンスルNo.4 会長 六車紀代子

カウンスル No.4 会長に任命されてからまず感じたことは、会員の方々がとても明るく、率直な、思い遣りをもって接して来られるところです。更に、お互いに励ましあい、フォローし合えることの素晴らしさを持ち備えた会員の集まりであることを改めて自覚しあって、形式だけのコミュニケーションではなく、心からのコミュニケーションを学ぼうと進めています。

今期役員会や委員会は、経験の浅い会員が頑張っています。また、それをベテラン会員が新しい風を受け入れながら、大切なことをきちんと伝えていけるようにしたいと考えています。



私自身は、幼い時に父が教えてくれた『人が茶碗を投げたら、真綿で受けなさい』という言葉がやっと理解できるようになりました。いろんな場所で、いろんな機会に、人と真正面に向き合っていくことこそが、そして、『真綿の心』をコミュニケーションの原点にして行動しようと思がけています。

カウンスルNo.5 (第21期)

「体力、知力、Mパワー？」

カウンスルNo.5 第二副会長 松本 敬



20周年記念会合を無事終えた我がカウンスル No.5 は、自称「なにくそ教教主」遠藤会長の教え＝体力、知力、Mパワー？をフル活動して、積極的な行事予定を組んでいます。第二副会長部門として、10月24日、クラブ会員委員長全員集合で、親睦も兼ねた研修会を開催しました。フルメンバークラブから少人数クラブまで幅広い意見が飛び交い、新入会員獲得や既存会員の定着に対するヒントやアドバイスを各クラブに持ち帰りました。

また会員維持の為にビジネスの面白さを是非体験してもらいたいと1月28日には「ご存じですか？正しいビジネス」と題し、ITC 歴の浅い会員のみならず、ベテラン会員も改めて正しいビジネスを見直すワークショップ「模擬例会」を企画・実行致しました。予想以上の参加者（132名）があり、終了後の評価（60%回収）で大半が「良かった！改めていい勉強になり、有意義だった」との声に、開催した甲斐があったと関係者一同喜んでいきます。

模擬例会シナリオ作成（No.5のHPにシナリオを掲載予定です。ご覧ください。）にあたり、アチコチの資料を調べたり、先輩のお知恵を拝借したり、出演者達と練り合わせながらの活発なリハーサルなど、会員委員会メンバーの一致団結したパワーの賜物と感謝し、人の和そして準備の大切さを学ばせていただきました。

カウンスルNo.6 (第21期)

「充実した簡素化を目指して」

カウンスルNo.6 会長 桑原 弘子



今期、カウンスル No.6 の会合運営にあたり、現状を考えたとき、各レベルの役目を何役も引受けている会員の負担と、実働人数が少ないクラブにとって、カウンスル会合の負担が大きいことに配慮する必要性を痛感しました。まず従来の枠にとらわれず、簡素化を考えました。開会11時とし、座席指定や、会場設営はできるだけ時間と手間をかけないようにしました。簡素であっても、全員で協力することで結束も生じます。会合内容も、会員の負担を少なく充実したものにしたと考えました。

第1回会合では、広くITCを知っていただきたいと、プログラムを公開講演としました。皆様に、聞き手を惹きつける魅力ある話し方を体感していただきたいと、立命館大学国際平和ミュージアム名誉館長 安斎育郎先生に「だましの心理学—だまされないための知恵」と題して講演をしていただきました。結果は大変好評で、一般ゲストの参加も多く、PREM活動にも結びつけることができ、自由に発想する楽しさをも感じました。現状をのり切ろうと努力することの大切さにも気づき、何かが深まる思いがしました。

これからの会合にむけて、知恵を出し合い協力して、充実した簡素化を目指して一步を大切に、会員とともに歩みたいと思っています。

カウンスルNo.7 (第21期)

どこかが違う 我がカウンスルNo.7

カウンスルNo.7 第一副会長 尾崎 翠

まず第一に藤井豊子会長の何にでも食らいついていく貪欲なまでの進取性に驚かされます。

この進取性が役員会をぐいぐいと引っ張ってうまく歯車が噛み合い、一見「出来るの?」と思うことでも、プログラムが組めてしまうのです。役員会と担当クラブがきちんと機能すると思わぬところから援軍が現れてプログラムが充実するということを第一回会合で経験いたしました。

近年、どこのカウンスルもニュースレターの廃止や発行回数の減少に踏み切っています。カウンスル No.7 も 4 回発行を 3 回に、そのうちの 1 回をメール配信ということもありました。

第21期役員会ではこの IT 時代に会員への情報は多いほど良いということで、ホームページの立ち上げを計画しました。“善は急げ”とばかり、スピードアップして2008年10月1日に開設しましたが、これは、役員会でやりたいと企画を温めていた役員があつてのことであり、「未来への蓄積」のために様々な意見を汲み上げ、出来るものは実行に移すというカウンスル No.7 第21期役員会の自己主張の結果と考えています。



カウンスルNo.8 (第19期)

我がカウンスル

カウンスルNo.8 サンデークラブ 白垣 駿一

江戸時代の江戸を出発点とした街道で我がカウンスルの ITC クラブの分布を見る。江戸に東京、青山、東京セントラルの 3 クラブがあり、東海道に横浜、甲州街道に蕪崎、中仙道に彩玉、奥州街道に盛岡、水戸街道に柏、サンデー、東葛、筑波、の 4 クラブ、そして成田街道に、アクア千葉がある。西は蕪崎から東は盛岡。県で言えば山梨県から岩手県に跨る全長600kmというテリトリーの広さは我がカウンスルの自慢でもあり、問題でもある。各クラブ共、会員数減少に悩む今、ITC 不毛の地、仙台、新潟、さいたま等の大都市にクラブ増設は夢だろうか。

さて、我がカウンスルの最大の誇りは、何と言っても、ITC の歴史にその名を残す、2001年アナハイム世界大会スピーチコンテストで小寺恵子さん（柏クラブ）の優勝を措いて他にない。英語を母国語とする、所謂ネイティブ・スピーカーの強豪数多の中で、優勝を勝ち取るのは至難の業。その時の 3 位がメアリー・マーシャル現国際会長という、如何に価値ある優勝だったことか。

リージョンで 2 人しかいない難関のフェロー・オブ・ITC の資格を取った、小菅あけみさん（サンデークラブ）の精力的活動もカウンスルにとって大きな財産。

男性会員が青山に 1、サンデーに 7、東葛に 1 の計 9 名という多さも忘れてはなるまい。



会報1号 お詫びと訂正

27頁 カウンスル No.6

奈良クラブ 会員数 : 訂正前 15 → 訂正後 17

金沢クラブ 会長氏名 : 訂正前 谷内 希久子 → 訂正後 谷内 希久代



編集後記

会員皆様の暖かいご協力を得て会報2号発行の運びとなりました。

“多様性を楽しむ” 今期テーマのもと、それぞれのカウンスル・クラブにはどのような風が吹いているのでしょうか。“たんぼぼの花には花の風生まれ”の汀女の句に思いをはせつつ、無作為に「私のクラブ」は選ばせて頂きました。3号に向けて皆様からの投稿をお待ちしております。第27回リージョン年次大会の成功を念じて、会報2号をご愛読くださいませ。

編集者：井上 暁子（京都）

スタッフ：石田 恵子（平安） 中込 寿美（北摂） 岩井 悦子（琵琶湖）



ITC 日本リージョン会報 Vol.27/No.2
編集・発行：第27期 ITC 日本リージョン
印刷：上野タイプ印刷(株)

ITC Pledge

ITC 宣誓

We, as members of International Training in Communication, hereby pledge to improve our communication and leadership skills, in order to achieve greater understanding throughout the world.

我々国際トレーニング イン コミュニケーションのメンバーは、世界中の相互理解促進のために、コミュニケーション技術と指導力の向上に努めることをここに誓います。

2008—2009

ITC 日本リージョン 声明文

Mission Statement of Japan Region

ITC 日本リージョンの使命は、ITC の目的とするコミュニケーション技術と組織運営の技術を習得する機会を会員に提供してリーダーシップをそなえた社会人を養成し社会に貢献することにある。

The mission of ITC Japan Region is to present the members opportunities for quality training in communication and leadership skills which are the purposes of International Training in Communication and benefit the society by providing mature individuals.